

怪談朗読公演

朗読×音×踊りの宵

真冬の怪談語り

其之一

『幽靈滝の伝説』

其之二

『鳥取のふとん』

其之三

『高住善源寺の椿相という
僧の死靈のこと』

『僧の死靈のこと』

日 時 令和8年 1月30日 金 18:30 - (18:15開場)

会 場 鳥取大学地域学部棟2階 芸術文化センター・アートプラザ

〒680-8551 鳥取市湖山町南4丁目101

定 員 30名程度／要事前申込

※人数把握のため、事前申込をお願いしています。
空きがある場合は当日参加も可能です。

料 金 無料

【お問い合わせ】 tottori.performance@gmail.com

主催 | 鳥取大学地域学部3年有志

共催 | 鳥取大学地域学部国際地域文化コース舞踊・身体表現研究室

本公演は地域学部国際地域文化コース3年次選択授業「パフォーミングアーツ実践（舞踊・身体表現）」
の一環として制作しています。

Google フォームより
お申込みください



作品紹介

其之一『幽霊滝の伝説』

日野町中菅に伝わる昔話。
冬の晩、お勝は二歳の赤子を背負い、
「幽霊滝」へ肝試しに向かう——。

其之二『鳥取のふとん』

浜村温泉に伝わる昔話。
夜半、布団の奥から幼い声がする——
「兄さん、寒かろう」「お前、寒かろう」。

其之三『高住善源寺の椿相という僧の死靈のこと』

湖山池に伝わる昔話。
悪どい僧・椿相の死後、湖山池で火の玉が目撃され始める——。

◆小泉八雲について

1850年、ギリシャ・レフカダ島生まれ。
新聞記者として松江に来日し、日本の怪談文化に魅せられた。
1891年、妻セツと鳥取を訪れ、鳥取にまつわる怪談を聞く。
NHK連続テレビ小説『ばけばばけ』でも再び注目を集める。

◆龍峰寺について

広徳山 龍峰寺（鳥取市栗谷町／臨済宗）。池田家の菩提寺として知られる。
堂内欄間には揚羽紋と葵紋が並び、池田家・徳川家との関わりを今に伝える。
天正13年（1585）創建、寛保元年（1741）に再建。御本尊は薬師如来。
江戸前期、黄檗宗への改宗をめぐって妙心寺が幕府に訴え出た。その後、元禄6年（1693）の和解によって龍峰寺は興禪寺となり、龍峰寺は現在地へ移転した。湖山付近にあった善源寺は龍峰寺の末寺であり、現在は存在しない。

出演者

竹内 千乃
福井 朱美玲
柳瀬 梨帆
WANG YIFAN

スタッフ

演出
舞台監督
照明
音響
受付
プロジェクト操作
チラシデザイン
コーディネート

出演者による共同演出

古元 佑梨子
田中 陽一郎（アドセンターフジ）
菊岡 大志
稻村 文香 / 古田 七海
巣山 侑亞
竹内 千乃
木野 彩子

協力

漆原 虚秀
(龍峰寺住職)

米田 真理子
(鳥取大学地域学部教授)
鳥取大学演劇サークル
劇団あしあと

最新情報・詳細は
こちらから

